

# ひので 議会だより

## 新型コロナウイルスワクチンの 接種に向けて準備を進めています



集団接種会場を予定しているイオンホールにて、新型コロナウイルスワクチン接種シミュレーションを実施しました。町では新型コロナウイルスワクチン接種専用コールセンターを開設しています。

**042-588-5840** 平日の午前9時から午後5時



新型コロナウイルス  
ワクチン接種情報  
(日の出町HP)

### 令和3年 第1回定例会

- ・PICK UP 防災行政無線音声配信など ..... 2P
- ・令和3年度当初予算審議 地域振興費75億円で協定締結 ..... 4P
- ・一般質問 「町政を問う」 ..... 7P
- ・新人議員の紹介 ..... 14P

Pickup!



日の出町  
「ひのでちゃん」

## 日の出町新型コロナウイルス感染症 緊急対策基金条例を制定

東京都市町村新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金を原資とした基金をもうけ、感染症対策等の財源に充てるため基金への積み立てを行い、引き続き感染症対策を実施していきます。

※東京都市町村新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金とは、新型コロナウイルス感染症対策の実施によって生じる財政需要の増加をはじめとする町の様々な影響に対し、幅広い財政支援を行うことを目的とした交付金です。



## 塩田の トマトハウス解体

ひので塩田農産物普及センターのガラスハウス解体工事を行います。長年地域に愛されてきた日の出トマトのブランドは、町内の生産者に引き継ぐことを計画しており、農家の皆様とともに引き続きブランド力の向上に努めていきます。



本来のトマトのうま味が凝縮した日の出トマト

## 防災行政無線音声 配信システムの構築

新たな避難情報の提供を開始します。

### 対象者の条件

- ①土砂災害警戒区域に居住  
(イエローゾーン)
- ②防災行政無線が聞きにくい
- ③個別受信機や携帯電話等を持っていない世帯

日の出町お知らせ  
メールにも登録し  
ましょう！



日の出町お知らせメール

## 在宅要介護者の受け入れ 体制の確保に向けて

在宅で介護者が新型コロナウイルス感染症に罹患したことにより、取り残されてしまう在宅要介護者（濃厚接触者）を一時保護する必要があるため、西多摩保健所と連携し町内施設での受け入れ支援を行う事業を進めていきます。



## ノンステップ小型バスを購入予定 新たな町民の足を確保！

高齢者や障がい者、登下校の小学生など、全ての利用者が安心して利用できるよう、段差のないノンステップ小型バスを導入し、来年春からの運行を目指しています。



小型ノンステップバス ※写真はイメージです

## 町長報告関連

○地域振興費10年間75億円で協定締結  
日の出町と東京たま広域資源循環組合との間において、地域振興費に関する協定が締結されました。協定額は、令和2年度～令和11年度の10年間で75億円となりました。

○基金の活用により介護保険料は据え置き  
日の出町高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）を策定。地域の実情に応じた適切な事業の整備、介護サービス量等を見込み、事業を進めていきます。

○「新学校給食センター」の建設及び運営に関する基本合意書」をあきる野市と締結  
「学校給食センター共同運営に係る広域連携」に関し検討を重ねた結果、児童・生徒へ安全・安心な給食を提供するため、あきる野市と基本合意書を締結しました。

○「小さな蔵の資料館」休館  
小さな蔵の資料館は来館者が減少している中、文化財保護審議会委員及び社会教育委員のご意見を伺った結果、新たな一歩を踏み出すまで休館することとなりました。

## 陳情

3陳情第1号「アスベスト被害者補償基金制度の創設と全面解決を国に働きかける意見書提出を求める陳情」は、「趣旨採択」と採決されました。



## 各会計の予算を集中審議

### 令和3年度

3月11日に予算決算常任委員会が開催され、歳入歳出に対して94項目にわたる質疑と意見が出されました。今回の委員会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初は2日間を予定していた審査日程を1日に短縮し、冒頭の総括的質疑では各会派の代表質問を行いました。3月17日の最終日には、委員長から審査結果の報告の後、採決の結果、一般会計は全会一致、各特別会計についても全てが可決されました。

## 主な 質疑 Q&A

### 一般会計

**Q** 町税は前年度比減収となっている。主要原因と今後の見通しは

**A** 新型コロナウイルス感染症と税率改正の影響などから町民税の個人、法人、固定資産税、都市計画税の減額が原因。今

後の見通しでは、生産年齢人口の減少に伴い減少。税率改正による税額の減の影響が出る。

**Q** 自立支援給付事業、保育所運営費委託料、認定こども園施設型給付費等は今後どのように変遷が予想されるか

**A** 自立支援給付事業は今後増額が続く。保育所運営費委託料と認定こども園施設型給付費は今後子どもの人数に比例して減っていく。

**Q** 繰出金の今後の見通しについて

**A** 各特別会計の動向により変動するが、後期高齢者医療会計では増加、介護保険会計では微増、国民健康保険、下水道会計にあっては減少傾向にあり、全体では繰出金は減少傾向にある。

**Q** 地域振興対策費が令和4年度以降減額となる。差額を埋める方策を伺う

**A** 向こう10年程度の新たな行政展開、需要等も予測した中で、予算配分の転換を含む行政改革を行っていく。

**Q** 令和3年度中に新たに策定あるいは改訂される各種計画は

**A** 商工業振興計画書、日の出町地域防災計画、獣害対策基本計画が3件、3年度で期間

満了となる。改訂予定は公共施設等の総合管理計画が一部改訂の予定。

**Q** コロナ禍における様々な行事の開催判断に伴う基準の設定について

**A** 統一する基準は現在のところ設定はしていないが、判断する上での最優先とするのは町民の生命、健康を守ること。

**Q** 歳出削減に向けた事務事業検証にどの程度取り組んだか

**A** 全事業経費について検証を実施。評価基準の均一化、統一化をした検証シートの作成を研究し令和2年度決算から使用する予定。

**Q** 新たな財源確保に向けての取組について基本的な見解を伺う

**A** 第2期日の出町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定。交流人口あるいは関係人口の拡大に努めていきたいと考える。

**Q** 日の出町の町民を幸せにするシステムについて

**A** 取り組む全ての施策の中には、町民、町のため、町民の方が安心して暮らせるまちづくり、安全・安心なまちづくりというのが共通したテーマとして存在する。

**Q** 福祉単独施策の検証はどのような過程を経て、結論が出されるか

**A** 福祉検証会議を持続可能な制度構築を確立するために、意見をまとめていくという会議体として設置。現在までに3回開催。今後2回で意見集約。町としての総合的な検証判断を重ね、町長の判断を仰ぐ。

**Q** ごみ減量・リサイクル大作戦について

**A** 厨芥類の資源化が進めば、ごみ量減少に結びつく。町でも、広報を使い、「目指せごみゼロ」と題しまして、啓発活動、段ボールコンポスト配布、家庭用電気式生ごみ処理機購入補助を行っているところ。

**Q** 臨時財政対策債発行について見解を伺う

**A** あくまで臨時財政対策債は、臨時の措置であり、後年度の償還額を交付税で措置がなされているとはいえず、本来は地方交付税として措置がなされるべきものというように考えている。  
※臨時財政対策債とは、地方財政収支の不足額を補てんするため、地方公共団体が特例として発行する地方債です。

**Q** 町単独福祉施策検証委員会のアドバイザーについて

**A** 有識者として都立大学教授を任用。持続可能な制度構築のための意見を伺っている。

**Q** 東京2020オリ・パラについて

**A** 7月11日、日の出町で聖火リレーを予定。役場前でミニセレブレーションの開催を予定している。

**Q** 旧平井老人福祉センター解体の積算根拠について

**A** 東京都の建設局の積算基準と単価及び工法をもとに積算している。アスベスト対策に関して十分な対応をできるよう予算計上している。

**Q** 温泉宅配事業内容と効果について

**A** 高齢者等の個人住宅と老人福祉センター等の施設宅配をしている。施設に使われている温泉に関しては、非常に要望が多い状況。

**Q** 森林クラウドシステムの目的と詳細について

**A** 森林の土地の所有者等に関する情報を記載した隣地台帳及び森林の土地に関する地図の整備、公表を行う。

**Q** 町内空き家確認作業について

**A** 広報紙等を配布していない戸建て住宅の状況確認をし、



解体が予定されている旧平井老人福祉センター

空き家増減の状況把握とともに、改めて所有者の方への意向調査を行う。

**日の出野鳥の森自然公園事業の整備について**

**A** 景観を重視した伐採、このほか予算の範囲内でベンチなどの休憩場所改修や散策路整備等を予定している。

**副校長補佐事業の概要を伺う**

**A** 令和5年度までに全校への配置を計画。副校長の働き方改革や管理職不足の解消を目指した東京都のモデル事業。

**社会体育施設予約のオンライン化について伺う**

**A** 施設利用者がインターネットを通じて、施設の空き状況の確認・予約・抽選機能・使用料支払いの手続きなどを行えるシステム構築を今年度準備する。

**給食センターの、今後の工事予定を伺う**

**A** シャッター交換120万円、オーブンの更新500万円などを計画し、リースも含めて検討している。

**スポーツパーク遊戯撤去事業の概要を伺う**

**A** 使用不可になっている遊戯を撤去するが、新たな遊戯具の設置計画は考えていない。

**災害復旧工事の入札が不調となっている。林道災害復旧計画への影響を伺う**

**A** 東京都林道災害復旧事業補助金を活用し、当初の予定通り令和7年度を完了年度と見込んでいる。

**道路河川災害復旧経費（令和元年度台風19号）の内容を**

伺う

**A** 白岩滝入口付近の橋梁撤去と浚渫工事を予定。令和3年6月頃から橋を撤去し、9月頃より護岸の整備を施工する。

**特別会計**

**国民健康保険**

**Q** コロナ禍で税率改定を見送るとあるが、赤字解消への影響は

**A** コロナ禍で、保険料の減免を実施。改訂見送りと意見があり、税率引き上げは、被保険者の理解を得られぬと判断。

**下水道事業特別会計**

**Q** 使用量の予算に与える影響は

**A** 過去5年間の平均使用量で

算定している。大口6社の使用量が1割から3割減少、一般家庭の使用量は大幅な変動はない。

**介護保険特別会計**

**Q** 包括支援センターの増設の検討は

**A** 令和7年、4000人弱が後期高齢者となる。現在、困難事例も増え、包括支援センターの業務負担が増加。増設の検討の余地がある。

**後期高齢者医療特別会計**

**Q** 75歳以上の医療費が2割負担になるが町の対象者は

**A** 課税所得月額28万円以上かつ年収200万円以上の方に限り、窓口負担を2割にするとし、実施は令和4年後半に政令で定めるとされた。町の概算では全体の30%が対象になる。



# 一般質問 町政を問う

## 要旨



図書館前のフジの花



小玉正義

**コロナ禍における町職員の働き方について伺う**

**質** 昨年の緊急事態宣言時の在宅勤務の状況等を伺う。

**課長** 緊急事態宣言は、令和2年4月7日から5月25日に終了。職員間の接触を避けることを目的に、本庁舎、全職種15の所管課等において、可能な限り2班体制（3人職場は3交代体制）を目標に掲げ、延べ117名の職員が在宅勤務に従事し、出勤率をおおむね3割から4割程度削減することができた。

**質** 反省事項はなにか。  
**課長** 全庁的に完全に2班体制を敷くことには無理があることも判明し、継続的な在宅勤務を実施していくためには、自宅にも職場と同等程度の環境を整備

する必要があると感じ、環境面において十分なところが反省項目である。

**質** 本年の施策にどのようなことが生かされているのか伺う。

**課長** 研修的要素をなくし、担当する業務の各種計画書や業務の効

率化の提案書等の作成など、成果物として提出が可能な業務を在宅勤務として認めること。通常の業務で多くの職員が利用している庁内情報系ネットワークにセキュリティを確保した上でアクセスを可能とし、自宅でもどこでも業務対応を可能とするテレワーク用端末20台を購入し、その試行を2月の在宅勤務時等に実施した。





なわ い き よ こ  
**縄井 貴代子**



痛くないな



ご心配な方は、まずかかりつけ医にご相談を！

置のついて

質 町における進捗状況や体制整備を伺う。

課長 「子育て世代包括支援センター」の設置は、コロナワクチン接種事業が最優先事業となっていることから、現在では中断している。

支援プランを提供する事業や子育て支援として、親子が気軽に立ち寄ることができる場の提供、誰でも利用できる常設の空間が必要であることは、各関係部署の共通認識に至っている。ワンストップサービスの拠点として実現させるためには、開設時期と人員の確保の課題がある。

場所、イオンモール日の出の「イオンホール」を候補としており、月曜日から金曜日の平日10時から17時の間に接種を予定している。現在、日の出町の医師会や、公立阿伎留医療センター、あきる野市、檜原村など関係機関と協議を進めている。  
**妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」の設**

**新型コロナウイルスワクチン接種について**  
 質 町における接種の全体像を伺う。  
**町長職務代理者** 町は、集団接種を基本として、個別接種の併用を考えている。3万3040回の接種を想定し、接種時期は、65歳以上の高齢者は4月以降、16歳から64歳の開始時期は、ワクチンの配送時期等が確定されていないため未定。集団接種



た むら  
**田村 みさ子**

新型コロナウイルス感染症陽性者等への対応を問う

質 支援や相談窓口は役場の担当でいいか。  
**職務代理者** 保健センターで受けた相談件数は83件、陽性者等からの支援に関する要望はこれまでではなかった。  
 質 無症状であっても検査を受けたい場合がある。情報提供ができないか。

課長 特定の民間機関の情報提供を行うことは難しいが、健康推進係で要望に照らしてのアドバイスは可能と考えている。  
**新型コロナウイルス接種を問う**  
 質 町民全員が2回の接種を終える期間の予測はたてているか。  
 課長 ワクチンの供給見込みが明らかになつておらず、予測は困難

安全に効率的な接種が行えるよう、全力を挙げて取り組んでいく。  
**地域公共交通計画実現を問う**

質 時間をかけて議論し実施計画を策定している。着実な実施をお願いしたい。  
**課長** 交通空白地の解消、大型商業施設や公立阿伎留医療センター、引田駅へのアクセスを可能とし、誰でも利用可能な公共交通として運行を着実に実施する。



厚生労働省フリーダイヤル  
 0120-565653





# 萩原隆旦

第2期日の出町人口ビジョン及び日の出町まち・ひと・しごと創生総合戦略を問う

質 5年前の第1期計画より推計将来人口の減少幅が小さいが。

町長職務代理者 第2期総合戦略は第1期で実施した施策を検証した上で、令和2年度を初年度として改めて策定した。

課長 合計特殊出生率が1・39から1・44に上方修正されたこと、基準年である平成27年国勢調査人口が前回の基準年人口を大きく上回ったことなどが要因。またこの推計値は、単なる人口予測ではなく、人口減少緩和策実施を前提とした「町の目標人口」である。

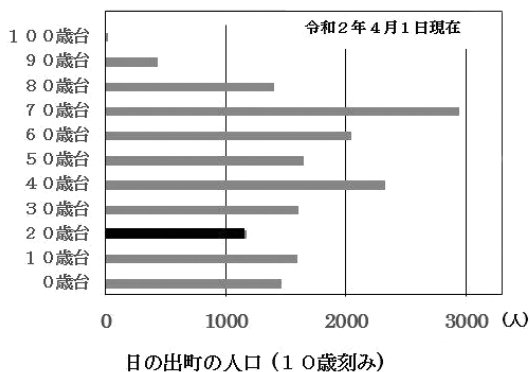
質 当町の場合、若年層、特に20歳代の人口

動態が課題と考えるが。

課長 その通りで、令和元年度1年間で20歳代は4・6%減少。10歳刻みの人口ピラミッドでは20歳代が最も少なく、全人口の7%を占めるに過ぎない。

質 町民アンケートの結果は。

課長 15歳〜40歳の町内在住者と転出者を対象にアンケートを実施。



「住みよい」点は自然環境、子育て支援策、教育環境。「住みにくい」点は交通の便や仕事が少ないなど。求められる施策は就職関連のサービス。転出者の約半数は「機会があればまた日の出町に住みたい」と回答している。

質 転出理由は調査しているか。

課長 平成28年と令和元年に転出理由の調査を含むアンケートが行われているが、進学・転勤・就業・結婚で約75%を占めている。

# おさむ 治

# か くら 嘉倉



町道の整備拡充と雨水冠水対策に関して問う

質 町道隣接のセットバック整備に関する実施要項、基本方針を伺う。

課長 隣接市町の状況を調査し、将来的にはセットバック部分の整備を進める方向で検討を進めている。

質 セットバック部分に関して、現行では地権者さんからの「寄付採納願ひ」で行っている。町が利便性確保の必要



冠水箇所へ設置中の横断側溝と集水樹

事務所に提出された確定図を基に調査を行うと数年掛かり予算も多額になる。全体把握のリストアップは費用対効果の面から必要性を検討している。

質 雨期、台風シーズンには町のいたる所で町道の冠水が発生している。平時より過去のデータを基に、雨水排水整備や東京都が補助している雨水浸透ますの設置など計画的に推進するべきと考えるが。

課長 建設課では住民からの要望を基に現場を調査し、道路の補修や雨水対策の必要な箇所のリスト化をしている。多発するゲリラ豪雨等の雨水処理の状況が変化しており危険度を勘案して対応していく。東京都の補助制度は町に該当すれば前向きに検討したい。



ひがし  
東

とおる  
亨

**行政のICT（情報通信技術）推進が提起されているが、日の出町の取り組みについて**  
**質** 日の出町の通信環境の現状と今後の整備の取組について伺う。  
**課長** フリーWiFiを日の出町役場本庁舎1階とやまびこホール、グリーンプラザの計3か所に整備。今後通信環境の改善に取り組む。  
**質** 庁舎と各公共施設



**小・中学校間での情報の共有化・業務の効率化をどう進めていくのか。**  
**課長** 補正予算で、小・中学校を含めたほぼ全ての町内の公共施設で、Web会議が利用できるようにする。  
**質** 今後、電子行政を推進するためには、専門的知識を有する人材の育成、組織体制が課題となると思つが。

**近隣自治体との情報共有、地方公共団体向けのICT専門研修で知識の習得などに努める。**  
**質** AI・RPAの導入に向けて基本的な計画を構築しておくべきでは。  
**課長** 導入に向けての基本的計画は予定していないが、業務プロセスと作業量の現状把握を行った上で検討する。  
**質** テレワークの働き方支援を推奨するお考えはあるか。  
**課長** 職員向けとしては、在宅勤務でも庁内情報ネットワークに接続できる専用端末を20台導入。住民向けの対応としては、市民のテレワーク普及状況やニーズを勘案して検討を行う。



ひら  
平野  
たか  
隆史

**肝要の里の運営について**  
**質** 昨年12月議会一般質問で、日の出町サービス総合センター社長である副町長は、肝要の里の入場者対策で、「来年はマルシェ開催を考えている」との答弁をされた。開催準備を進めていると思うが、新型コロナウイルス感染症対策を考慮したマルシェをどのように開催するか伺う。  
**町長職務代理者** サービス総合センター(株)との指定管理委託において、31年4月に締結した「ひので肝要の里の管理に関する基本協定書」では、「施設の知名度を上げること・補助金利用計画による年間入場者数1万957人を達成するため、イベントを2回以上開催す

る」と記載されている。これにより、ひのでマルシェを開催。令和2年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る緊急事態宣言が発出、延長され、町としても各種イベントの開催の中止を余儀なくされた。令和3年度についてもイベント

開催を前提として、国や東京都の動向を十分に把握した上で適切な時期、適切な方法で、施設の所管課である産業観光課とサービス総合センターで協議を重ねている。  
**課長** 3密を回避し、手指消毒、来場者の検温、マスク着用義務を徹底し、人数制限や屋外開催、時短開催なども考慮し開催すると伺っている。



肝要の里で開催された「ひのでマルシェ」



# 清水 浩

## 災害に強い町づくりについて問う

**質** 令和元年10月に発生した台風19号の検証結果について。

## 町長職務代理者 各職員が対応した反省点や問題点等を集約した結果、情報連絡通信機器、避難所用備品等、避難所運営に必要な物資が不足している事が報告された。そこで、各小・中学校に調査を行い、物資等について、災害時に借用できることを確認。

付金を利用し、避難所用間仕切り、ベッド、マットの備蓄を購入予定。さらに、災害協定を結んでいるイオンモールでは、4階駐車場で車中避難が可能トイレや授乳室、自動販売機の使用ができる事になっている。

**質** 避難行動要支援者に対する避難誘導体制について伺う。

**課長** 令和2年度は、システム改修の予定だったが、新型コロナウイルス感染症の対応の為、今年度の改修は困難な状況となった。令和3年度にシステム改修を行う。

**質** 職員向けに行った研修内容について。

**課長** 昨年8月に全職員を対象に避難所の受付シミュレーションとテントの組立を行った。今後は、間仕切りの組立など実践的な研修を企画する。

**課長** 東京都福祉保健局のガイドラインも参考にしながら運営を行って発熱者や感染症の疑いのある方は、避難所用テントをやまびこホールに開設します。また、地域創生臨時交



迅速な設営や運営、感染症対応などの習得を目的に実施した避難所開設訓練



# 木住野 智行

## 新型コロナウイルスワクチン接種について問う

**質** ワクチンの接種方法はどのように考えているか伺う。

**課長** 集団接種場所に関して、イオンモールの出の「イオンホール」を優先的に提供していたが、可能となったので、集団接種会場の候補として、月曜日から金曜日の平日連続10時から17



実際の接種を想定して実施された、新型コロナウイルスワクチン接種シミュレーション

**質** 町の公式動画チャンネル創設について伺う。

**課長** 職員の動画作成に関する技術習得のほか、公開のルールなどを定める必要がある。動画配信についてどのような活用方法があるかを検討し、今後、必要に応じて活用していきたいと考えている。

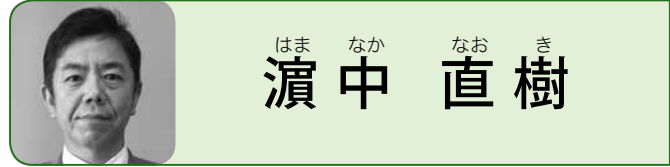
**質** 組織構築のための精通した専門人材の採用について伺う。

**課長** 専門家などからの技術的な助言を得ながら、専門的な知識の習得に努め、テレワークを可能とするPC端末の導入や、Web会議の導入など、新しい生活様式への移行、非接触型の業務運営の実現に向け、着実に取組を進めていく。

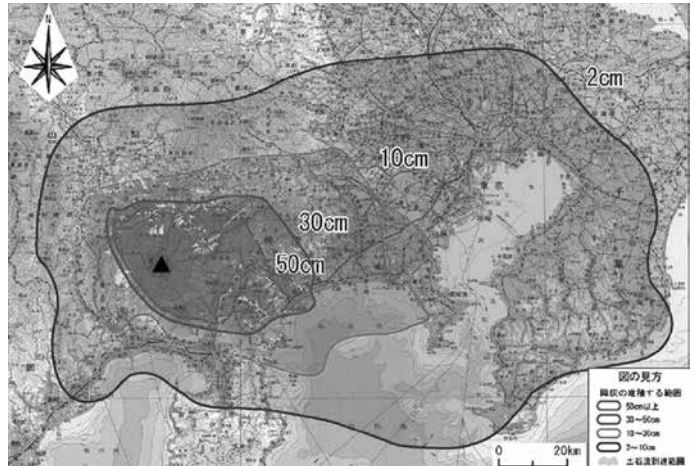
**質** 接種のスケジュールはどのようになっていくか伺う。

## ICTを活用した動画配信について問う





はま なか なお き  
濱中 直樹



降灰の可能性マップ  
出典:富士山火山防災対策協議会

**地域防災計画風水害等  
編降灰対策について伺**  
**う** 富士山火山防災  
マップでは、西多摩郡  
にも、噴火の規模や  
風向きにより最大10  
cm程降灰するという予  
測がある。予測通りで  
あれば、当町でも、約  
280万㊦(25mプー  
ル5.8杯分)の降灰が  
予想される。宅地等に  
降った火山灰は、土地

の所有者または管理者  
が対応することとなる  
が、雪と違い火山灰は  
溶けて土壤に染み込む  
ことがない。大量の火  
山灰を収集、処分する  
には、詳細な計画が必  
要になると思うが、い  
かがか。  
**課長** 「東京都地域防災  
計画」では、「都は、国  
に対し、火山灰の除去・  
処分方法について明確  
な指針を示すとともに、

**質** 長期的に火山灰に  
対する知識・降灰対策  
を周知する必要がある  
と思うが、いかが。  
**課長** 降灰対策の周知  
についても、まだ調査  
研究が進んでいない事  
項もあるが、必要に応  
じてその他の事項と同  
様に、国や都と連携を  
図りながら行っていき  
たい。

降灰による  
都市基盤  
への影響に  
ついて、的  
確な調査研  
究の実施及  
び具体的な  
対策の検討  
を行うこと  
を引き続き  
要望してい  
く」と示さ  
れている。  
今後、国や  
都の動向を  
注視する必  
要があると  
考える。



おり た  
折田 真知子

**質** 受給率の低い原因  
の分析は。  
**課長** 町にシヨッピン  
グモールや工業団地、  
特別養護老人ホームな  
ど働く場が多いこと、  
アパートなどの家賃が  
高く、経済的困窮世帯  
の転入が少ない。  
**質** 申請時の水際作戦  
を承知しているか。  
**課長** 西多摩福祉事務  
所では水際作戦は一切  
行っておらず、丁寧に  
相談を受け制度の説明  
をしている。  
**質** 承諾のない扶養照

コロナによる生活苦対  
策の「生活保護は権利」  
の広報・周知を求める  
**質** 生活保護受給世帯  
の割合は。  
**課長** 生活扶助48件、  
住宅扶助47件、教育扶  
助2件、医療扶助71件、  
生業扶助1件となつて  
いる。

会を行わないよう求め  
る。  
**課長** 機械的な扶養照  
会することなく、扶養  
照会の可否を検討して  
行っている。  
**コロナ対策事業「日の  
出のお店、再・発・券」**



**事業について**  
**質** 効果と評価は。  
**課長** 「初めてのお客  
さんが店に来た」との  
声が届き、地域商店の  
活性化につながった。  
今回「10万円が当た  
る」というキーワード  
を掲げたことで、応募  
総数3,939通、1,  
315万2千円の消費  
喚起につながった。



# 加藤 光徳

## 日の出町の財政運営について伺う

**質** 締結した地域振興費の年度別配分を伺う。

**課長** 令和2、3年度は従前と同額の10億円、令和4年度から段階的に減少し令和8年以降は6億円となる。

**質** 10年間で25億円減少する地域振興費の補填財源の確保はどう考えているか。

**課長** 歳入減の財源確保は歳出全般の見直し・抑制を進め、財源の捻出を図ることが必要。

**質** 地域振興費に依存しない財政運営についてはどう考えているか。

**課長** 令和3年度予算案における諸収入の財源割合は11・3%で、大部分を地域振興費が占める。地域振興費は住民への振興策に対し



ての財政的な協力として交付されており、投資的事業、公共福祉に供する事業に充当している。今後については、不断の行財政改革や福祉単独施策の見直しによる歳出削減を行う。

「財政健全化の観点から、財政規律」經常収支比率」の適正化への取り組みはどうか。

**課長** 福祉施策等の拡充に伴い、補助費等の割合が高く、經常収支比率は100%を超えている状況が続いている。適正化のためには、補助費等を中心に、全般にわたって検証したうえで、所期目的を達成したものの段階的廃止補助率見直し、整理合理化などを図っていく必要がある。



# 青鹿 和男

## 感染症業務について問う

**質** 感染症に関する基礎的知識や訓練等を平時から行うことが重要と考えるが、お考えは。

**課長** 避難所等に関する感染対策の必要性から、知識や感染防御の対応力の向上が必要。

国や東京都などの感染防止に関する普及啓発資料の活用や各種研修などへの参加を検討している。

お困りごとは、保健センターまで



令された2月にかけて64人の方に電話をし、健康状態などのヒヤリングを行っている。コロナのため外出しにくいという意見は伺っているが、引き籠もるといふ状態までには至っていないという報告を受けている。

**質** 孤立しやすい高齢者、健康状態を悪化させる子育て中の母親の産後鬱の増加など様々なりスクと課題をもちしているが、今後の課題解決策のためにどのように取り組まれるのか、お考えは。

**課長** 今年度から、高齢者支援係に町の保健師を配置して、介護予防教室等の支援を行ってきたが、昨年の12月から緊急事態宣言が発

いては、引き続き電話でのヒヤリングを継続している。産後鬱の母親については、各種検診等の参加状況などを踏まえ、課題のある母親がいた場合、子ども家庭支援センターへ情報提供を行い、医療機関へつなげるなどの対応を行っているが、現在のところ、大きなリスクが想定される母親はいないと考えている。

## 新人議員の紹介

令和3年4月11日執行、日の出町議会議員補欠選挙（無投票）において、新しく日の出町議会議員になりました。



名 前 **大澤 弘子**  
 所属党派 無所属  
 所属会派 レモンの会



名 前 **川脇 敏徳**  
 所属党派 無所属  
 所属会派 自民蒼政クラブ



名 前 **中西 千恵**  
 所属党派 無所属  
 所属会派 環境といのち

### 6月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
5/23	24 議会運営委員会	25	26	27	28	29
30	31 本会議 (議案審議)	6/1	2	3 本会議 (一般質問)	4	5
6	7 総務 まちづくり 常任委員会	8 厚生文教 常任委員会	9 議会運営 委員会	10	11	12
13	14 本会議 (議案審議)	15	16	17	18	19

会議日程は、変更となる場合があります

### 議会だより編集委員

木住野 智行    縄井 貴代子    濱中 直樹  
 青鹿 和男    折田 眞知子    大澤 弘子  
 (編集委員長)

### 編集後記

二度目の我慢の春です。コロナ蔓延防止対策の元、入園・入学・進級・入社とそれぞれのスタートが切られました。

町政も町長が変わり、議会も3人の議員が交代をし、新たなスタートです。編集委員会にも新たなメンバーが加わります。新鮮な目で紙面改善に取り組んでまいります。

いよいよコロナワクチン接種がはじまります。一刻も早くコロナを封じ込め、安心の日々が取り戻されることを願うばかりです。

編集委員長 折田 眞知子

発行 日の出町議会 編集 議会だより編集委員会  
 〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780 TEL 042 (588) 5148 (直通) FAX 042 (597) 4369

再生紙を使用しています。